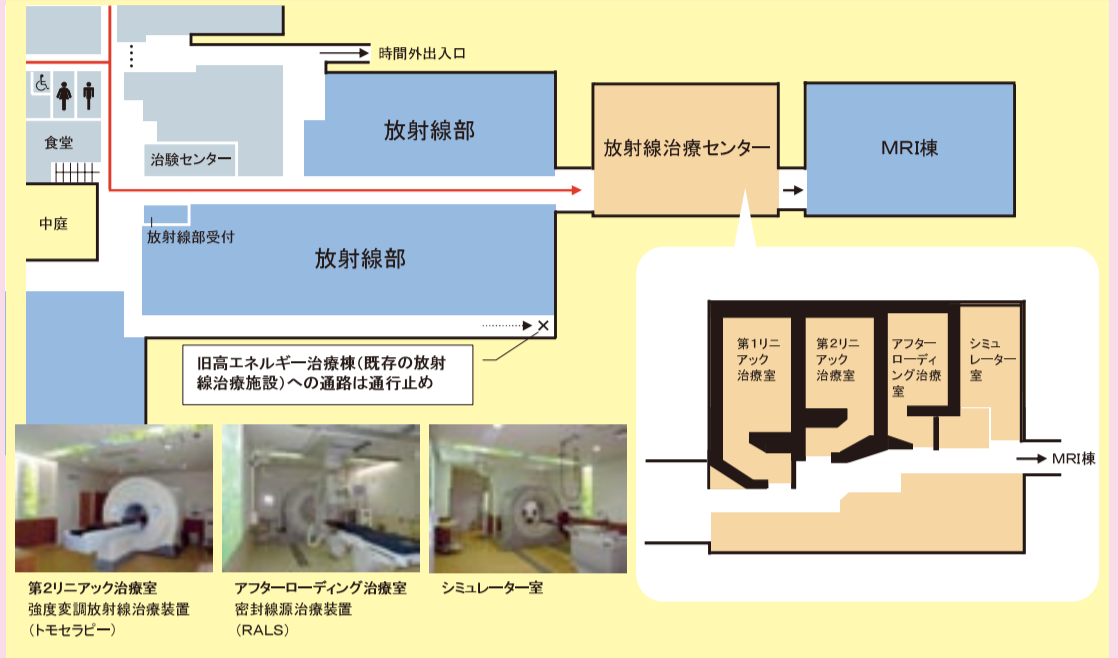


放射線治療センターを開設しました

平成24年10月15日、本院放射線部に放射線治療センターを開設しました。これは、山梨県内がん放射線治療体制を強化すべく、山梨県の協力を得て実現したものです。同センターには、県内初となる強度変調放射線治療装置を第2リニアック治療室に導入したほか、平成25年には既存の放射線治療装置の後継として、最先端の治療装置（CT一体型リニアックシステム）を第1リニアック治療室に設置予定です。これらの整備により、最先端の放射線治療が受けられるとともに、治療までの待機時間が短くなることが期待されます。

放射線治療センターの場所は右図のとおりです。なお、高エネルギー治療棟の撤去に伴い、MRI検査を行うMRI棟への経路が変更となっていますのでご注意ください。

患者さんをはじめご来院の方には、工事の騒音・振動等により、ご不便とご迷惑をおかけしています。今後も病院再整備に関連する工事が予定されています。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

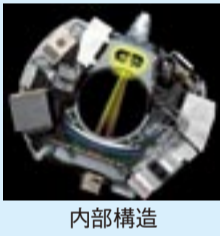


やさしく
教えて!
第10回

トモセラピーとは?

放射線治療科 大西 洋

トモセラピーとは、強度変調放射線治療の専用機として開発された、最先端のがん治療放射線治療装置です。外観は診断用CTやMRIと似ていますが、蓋を取ると内部はとても複雑な構造をしており、コンピュータ制御によって今までの放射線治療ではできなかった変形した照射範囲が緻密に設定できます。これにより、強度変調放射



線治療と呼ばれる、正常組織のダメージを減らし腫瘍組織を正確に分離した放射線治療が可能となります。

患者さんは寝台の上に乗ってスライドさせながら照射が行われますので、体全体に及ぶような病巣に対しても連続的に照射が可能です。また、CT画像も撮影できますので、ミリメートル以下の高精度な照射が可能となります。本年11月から稼働していますので、多くのがん治療の相談をお待ちしております。また、見学希望の方はいつでも放射線治療センターまでご連絡ください。



循環器救急センターの開設について

循環器救急センター 久木山 清貴

この度、本院に循環器救急センターを開設しました。重症または救急医療を必要とする心臓・血管・その他の循環器疾患症例を年中無休の24時間体制で受け入れます。循環器内科（第二内科）、心臓血管外科（第二外科）および集中治療部との連携により、急性心筋梗塞、心不全、不整脈、解離性大動脈瘤、その他の心血管疾患に対して高度な循環器救急診療を行います。スタッフ数は循環器内科医と外科医を合わせるだけでも20名以上と県内循環器施設の中でも最大数のマンパワーを有します。最新の医療機器を駆使しあらゆる循環器疾患に対応いたします。

次のような症状をお持ちで、症状が強い場合にご利用下さい。紹介状は必ずしも必要ありません。

- ・息苦しさ
- ・胸の圧迫感、痛みまたは違和感
- ・動悸
- ・失神

平日（8時30分～17時15時）は病院受付で本センター受診の希望を申し出てください。これ以外の時間帯の平日や土・日・祭日に受診希望の際は救急外来で受け付けます。その場合、受診前にお電話（055-273-1113）にてご連絡・ご相談ください。救急外来の入り口は、病院駐車場寄りの時間外玄関（入退院玄関）です。

子宮筋腫へのMRガイド下集束超音波治療を始めました

産婦人科 大森 真紀子

子宮筋腫は女性がかかりやすい疾患で、過多月経、月経困難症、頻尿、下腹部圧迫感など、症状がある場合には治療が必要となります。手術による摘出以外にもいくつかの治療法がありますが、先進的な治療としてMRガイド下集束超音波治療（MRgFUS; MR guided Focused Ultrasound Surgery）があります。この治療は国内ではまだ限られた施設でしかできませんが、本院ではこの機器を導入して7月から治療を開始しています。MRIの画像を見ながら集束超音波の焦点を体外から筋腫内に照射し熱凝固させて筋腫を縮小させる治療です。治療後はすぐに日常生活が可能です。治療できる筋腫には一定の条件がありますので、希望されるすべての患者さんを治療できるわけではありませんが、皮膚を傷つけることがなくたいへん有用な治療法です。産婦人科、放射線科、放射線部、看護部が協力して治療にあたっております。お問い合わせは産婦人科外来までお願いします。



緩和ケアチームによる緩和ケア教室のお知らせ

緩和ケアチームでは、毎月2回緩和ケア教室を開催しています。参加費は無料で予約不要です。日程は下記のとおりです。月の前半の回では薬剤師が担当して、医療用麻薬を中心とした痛み止めのお話をさせていただいています。後半では緩和ケア医師・看護師が緩和ケア全般にわたる説明をさせていただいています。どちらも13時30分から1時間程度のお話です。予約の必要はありませんので、患者さん・ご家族だけでなく地域の住民の方などのご参加をお待ちしております。

【平成25年の開催日】

～医療用麻薬の使い方～ (薬剤師が説明)	～緩和ケア全般について～ (医師と看護師が説明)
1月 7日(月)	1月 21日(月)
2月 4日(月)	2月 18日(月)
3月 4日(月)	3月 18日(月)
4月 1日(月)	4月 15日(月)
5月 13日(月)	5月 27日(月)
6月 3日(月)	6月 17日(月)
7月 8日(月)	7月 8日(月)
8月 5日(月)	8月 19日(月)
9月 9日(月)	9月 30日(月)
10月 7日(月)	10月 21日(月)
11月 11日(月)	11月 25日(月)
12月 2日(月)	12月 16日(月)



山梨大学医学部附属病院 緩和ケアチーム
飯嶋 哲也(麻酔科医師)
石黒 浩毅(精神科医師)
井上 貴美(緩和ケア認定看護師)
鈴木 和香子(薬剤師)
連絡先: 055-273-1111(代表)
(井上 貴美: 内線 4781)

【開催場所】 病院4階カンファレンスルーム

一日看護師を体験して

甲府第一高校 3年 北野 遥

私は、今まで患者としての立場でしか医療の現場を見たことがなく、立場を変えて現場を見ることで、看護の仕事をより深く理解したいと思い、一日看護師に参加しました。

今回ICUというなかなか足を踏み入れることのできない場所に立ち入らせていただきました。そこで、医療の現場には、多くの人やシステムが関わり、チームワークの中で医療行為が成立していることを目にする事ができました。

一方で今の私の無知にも気づくことができ、医療に関するより多くの深い知識、技術を得ることが今の私には必要だと思いました。

将来、現場に出たときに、一人ひとりの患者さんが満足できる医療を目指せるように努力していこうと決意を新たにすることができる体験でした。

中央高校 3年 栗原 綾佳

一日看護師で私は整形外科と眼科がある病棟で体験させていただきました。

体験を通して、衛生面にとっても気を付けていることや患者さんへの配慮が徹底されていて、とても素晴らしく思いました。

実際に働く看護師さんの姿を傍で見ることができ、今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。また、やりがいなど貴重なお話も聞いて、本当に体験できて良かったと思っています。

私は、改めて看護師になりたいという思いが強くなりました。貴重な体験をさせていただきありがとうございますございました。



甲府商業高校 3年 花輪 勝之輔

以前から看護師になりたいと考えていた私にとって、今回の一日看護師体験は、実際に看護の仕事を経験させていただけるとても貴重な機会でした。この体験を通して、看護師という仕事は患者さんの苦しみや悩みに寄り添う大切な仕事だと実感しました。

患者さんから「ありがとう」と声をかけていただいた際に、こういう瞬間がやりがいとなるのだろうと感じることもできました。また、座談会で看護師の方が「看護師は感性が大切」と言っていた言葉がとても印象的でした。

担当してくださった看護師さんの様に、患者さんに信頼され、笑顔がとても素敵な看護師になるため、これからさらに頑張ろうと思っています。お忙しい中、ありがとうございました。

歯科口腔外科科長就任のごあいさつ

上木 耕一郎



平成24年10月1日より、歯科口腔外科長に就任いたしました上木耕一郎（うえきこういちろう）と申します。

さて、超高齢化社会を迎え、21世紀の歯科医療は、咬合、咀嚼を介して、長寿社会における健やかな身体精神機能の保全と快適な生活（QOL）の獲得に大きな役割を果たすべきと考えられています。日本の平均寿命は、女性86歳、男性79歳であり、今や世界有数の長寿大国ですが、一方で歯の寿命は50歳代であり、一生自分の歯でものを噛むことができる人は非常に少ないといえます。このような現状の中、8020運動、つまり80歳になっても20本の歯を残すための予防に力が注がれています。しかし、様々な口腔疾患に罹患してしまった場合でも、あらゆる技術を用い手助けができれば幸いと思っております。歯科口腔外科は、一般的な、う蝕、歯周病、義歯治療に加えて、顎関節症（口が開かない、音がする、アゴが痛い）、口腔腫瘍、嚢胞、顎変形症（骨格的な咬み合わせ異常）などの治療、歯が原因の感染症治療、睡眠時無呼吸症候群のマウスピース治療も行っております。最近では、歯科インプラント（人工歯根）治療も一般的になり、従来の義歯治療に比べ審美、機能的に良好な結果が得られています。どうぞお気軽に歯科口腔外科までお尋ねください。

消防訓練を実施しました

本院では、10月16日に、1階西病棟で火災が発生したことを想定した消防訓練を甲府南消防署の協力の下に実施しました。

今回の訓練では、病棟からの避難誘導が困難となる病棟1階中央付近を仮想出火場所に設定し、病棟中央部分で発生した火災に対して、いかに迅速に初期消火及び病棟からの避難誘導を行うかということを検証しました。

火災発生時の非常放送を聞いた職員が消火器を持って出火場所に集合する訓練では、医学部の教職員にも参加を要請した結果、多数の消火要員が出火場所に参集して消火訓練を行いました。

また、7階西病棟では、垂直式救助袋を使用して地上に降りる避難訓練、災害対策本部横に設置された応急班救護所では、病棟から避難してきた患者に対するトリアージ（傷病の緊急度・重症度による選別）訓練及び応急処置訓練を行いました。

閉会式後には、消火器による消火訓練、体育館の消火栓を使用した放水訓練のほか、病棟の3箇所の屋内消火栓（6階、4階、1階）を使用した放水訓練も実施しました。

訓練に参加した教職員は、被害を最小限に留めるための行動を習得するため、緊張感を持って機敏に行動し、防火・防災対策に対する意識の高揚を図っていました。



応急班救護所



災害対策本部



放水訓練

Q&Aコーナー 「山梨大学医学部附属病院放送について」

Q： 外来ホールの小さいテレビで放送しているものはなんですか。

A： 本院外来ホールには大型テレビ1台と小型のテレビ2台が設置してあり、来院された方の待ち時間や空き時間解消のために、テレビ番組を放送してご利用いただいておりますが、ロンドンオリンピックや高校野球などの大きなイベントが終了した8月の下旬から「山梨大学医学部附属病院放送」と題しました放送を小型テレビ2台で放映しています。

この「山梨大学医学部附属病院放送」は、本院からのお知らせを発信するためのものです。放送の内容は、本院の基本理念や病院からのお願い、外来受診する場合に紹介状をご持参いただく理由、外来受診の（初診・再診）手続き、診察終了後の手続き、お薬の受取り方、駐車場の利用方法、面会時間などを、患者さんやご家族の方、お見舞いなどで来られた方がご覧になった時に分かりやすいよう

に考え作成しています。

今後は、各診療科による専門外来の診療案内や専門外来を受診する場合の手続きなどを放送に加え、内容を充実していきたいと思っております。また、外来ホールの小型テレビ2台だけではなく、別の場所でも待ち時間や空き時間にご覧いただけるよう追加することも検討しておりますので、ご来院の際には一度ご覧になっていただき、ご意見・ご要望をお寄せください。

